

会議の名称	全 員 協 議 会	開催月日・令和7年2月14日 開会時間・午前・午後10時30分 閉会時間・午前・午後11時12分
出席者	河崎 周平 安藤 誠 後藤 徹 佐藤 健 南谷 清司 栗津 明 原 一郎 安井 智子 野口 佳宏 川柳 雅裕 後藤 國弘 堀 隆和 藤川 貴雄 豊島 保夫 南谷 佳寛 花村 隆 山田 紘治 近藤 伸二	
欠席者		
オブザーバー		
傍聴者		
説明のために出席した者	藤井議会事務局長 浅井議会総務課長 堀議会総務課課長補佐 森議会総務課主任	
協議事項	・HP運用基準について ・議会改革特別委員会中間報告 ・その他	

【開会＝午前 10 時 30 分】

野口議長

全員協議会を開催いたします。会議に先立ち報道機関などから傍聴の申し出がありましたら、これを許可してよろしいですか。

(異議なし)

野口議長

まずはホームページ運用基準について広報広聴委員会より報告願います。

近藤広報広聴委員長

広報広聴委員会から、市議会ホームページの運用基準について再検討し、案のとおりまとめましたのでご報告いたします。手元の資料をご覧ください。

前回の全員協議会での結果を踏まえ、運用基準の内容について、再度協議しました。その結果、市議会のホームページは市のホームページの中に議会のページが作成されており、原則市のホームページの運用の基準に従う形となります。市のホームページ運用基準では、情報管理者が規定されており、課長がその任に当たります。このことを原則とすると、市議会の運用基準でも情報管理は議会総務課長が行い、例外的に大幅な変更や削除については、広報広聴委員会で協議し、議長が決定する仕組みを規定していることになります。

従いまして、この例外的運用以外についてはすべて議会総務課長が権限を持つことになることから、この運用基準案はこの原案のままで運用することとなりました。

この運用基準案でご了解を頂きましたら、今後この基準にてホームページを運用したいと思いますので、よろしくお願いします。

野口議長

ご報告ありがとうございました。ただいまの報告について何かご質問ございますでしょうか。

南谷清司議員

市の管理運営要綱に従うということは結構ですが、議会総務課長がいろいろやるというルール、議会総務課長を議長として読み替える規定を入れたほうが良いとは思っています。

疑問が一つありまして、前回もお尋ねしたんですが、「軽微なもの及び保存年限を過ぎたものについてはこの限りではない」ということで、保存年限が過ぎればおそらく自動

	的に削除するという規定だと思うんですけど、保存年限はどこに定められて、どこで確認をすればいいのかということをお尋ねしたいと思います。
議会総務課長	保存年限に関しては、市にはファイル基準表というものがあまして、総務課が管轄しておるんですけども、そちらを毎年、議会事務局で作成して管理している状況でございます。
野口議長	他、ございますか。 (意見なし)
野口議長	では、広報広聴委員会より報告があったホームページの運用基準について、決定ということで進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。 次に議会改革特別委員会中間報告について、議会改革特別委員会より報告願います。
安井議会改革特別委員長	議会改革特別委員会の中間報告をいたします。資料は、タブレットに配付してあります「R06-検討事項とりまとめ(案)」をご覧頂きたいと思います。 議会改革特別委員会は、令和6年5月から現在まで計10回開催し、議会機能の充実強化や活性化など議会改革について協議を重ねてまいりましたので、その主な内容と結果をご報告いたします。 まず、引き続きの協議事項でありました議長副議長選挙における所信表明制度導入については、この制度は法的に立候補制や所信表明制は規定されていないことから、導入は見送りとしました。 次に市民からの要望等に係る議会の対応状況の情報共有及び公開に係る運用基準の検討については、運用基準を作成し、全議員に了承が得られ、すでに運用を開始しております。 次に通年会期制の導入の検討、休日議会、夜間議会の開催含む、については、導入のメリットもあるが、デメリットの影響が大きいことから、導入は見送りとなりました。 次に議員の通称名、旧称の使用に関する規程の検討については、規程を作成し、全議員の了承が得られ、運用を開始しております。 最後に、議会手続きに関するデジタル化等の検討につい

	ては、会議規則、委員会条例の改正について協議を行い、改正案を作成し、諸手続きを経て3月定例会へ議案上程することとなりました。 また、オンラインによる委員会開催の試行や質問通告書、議員提出議案、会議録などデジタル化については、結果を得るには至っておりませんが、今後、タブレット等を使用して、最適な会議システムを検討するため、試行にてオンライン会議を実施する予定です。 今後も二元代表制の一翼として、市民に信頼され、活力のある議会を構築するため、議会改革に継続的に取り組んでいきたいと思います。 なお、今回ご報告しました内容については、議会ホームページへ掲載し、市民へ報告いたします。 以上が委員会の検討事項として協議した結果ですが、これらの協議以外に、議長から提案された「議長就任時の会派離脱について」を協議しました。その結果、その時々、の正副議長に就任された方の個人の判断で行い、申し合わせ事項とする必要はない、となりましたのであわせて報告します。これで議会改革特別委員会からの中間報告を終わります。
野口議長	ありがとうございました。ただいまの報告について何かご意見ございますか。
佐藤議員	通年会期制の関係で伺いますが、検討の中で休日議会や夜間議会の開催をご検討されたという意味でよろしいのでしょうか。というのも、通年会期制を導入しなかった場合においても、夜間議会や休日議会は開催できると思いますから、どちらの意味なのか分かりませんでしたのでお尋ねします。
安井議会改革特別委員長	休日議会と夜間議会の開催は、この通年会期制の導入を行ったときのものと考えております。
佐藤議員	承知いたしました。デメリットの影響が大きいという記載がございますが、どのようなデメリットがあるという意見が出ていたんでしょうか。
安井議会改革特別委員長	様々なデメリットが出たんですけれども、通年会期にして2年ほどでやめた事例を考慮しました。やるのであればしっかりと検討したうえでやるべきということから、資料

南谷清司議員	が足りないということで今回は見送りとしました。 私から議席順の決め方について改革をしたほうがいいのではないかという提案をさせていただきました。 現在は申し合わせ事項の中に期数順で決めると規定されております。議員は当選すれば全員が同じ立場ということが大原則ですので、そういう原則を踏まえれば一斉にくじ引きをして議席を決めたほうが本来の議員の立場が守られるのではということから、提案をさせてもらったんですが、この検討事項には取り上げられておりません。 取り上げられていない理由は、議事録を確認させていただきますと、毎年変えたらどうかと提案したんですが、毎年変えると事務負担が大きいと、だから取り上げないという意見が一番の意見だったようです。 であれば、4年にすればいいだけのことなんですが、本質的には期数に関係なく、議員は同じ立場で議会に臨んでいるのですから、同じようにくじ引きで議席順を決めるのが自然の摂理ではないかというのが私の提案です。 それで、議会改革特別委員会では検討事項に取り上げられなかったんですが、申し合わせ事項ですので、どこかで改正をしてほしいという思いがあった場合、どこでどうやって訴えてどこで審議して頂けるのかということをお尋ねします。
野口議長	一旦預かります。他にございますか。 (意見なし)
野口議長	次に参考資料として、議員の呼称に関する新聞記事をタブレットに入れました。12月31日付の新聞報道で議員の呼称について掲載されておりました。 内容は、中部6県、愛知、岐阜、三重、長野、福井、滋賀の6県議会と全114市議会を対象に調査をしたもので、現在の呼称は、「〇〇議員」が100議会、「〇〇さん」が2議会、一方「〇〇君」は15議会であったというものです。 羽島市議会においては、女性議員が議長となった折りに一旦、呼称を「議員」から「さん」に変更しましたが、その後、議長が男性になると「君」に戻りました。その後再度、女性が議長になってから現在にいたるまで「さん」となっております。 これを機に、議員の呼称について検討してはいかがかと

	思います。単刀直入に申し上げて、「議員」にしようということで、ご意見をお伺いしたいと思います。
佐藤議員	議事録では「君」になっていると思いますので、議事録とのバランスも検討しないといけないと思います。 また、今は「さん」ですが、私は「さん」がいいと思います。
豊島議員	糟谷議長のときに「さん」になったわけですが、「さん」で。市民との関係でも「さん」でいいですし、役所においても、議員のことを今更「先生」という職員もたまにいますが、すべて「さん」でいいと思います。
安井議員	以前は「君」と読み上げると次第に書いてあったときもあったんですが、女性から呼ぶときには「さん」が呼びやすいし、聞きやすいということで、「さん」に賛成です。
佐藤議員	先ほど議事録の関係で申し上げましたけれども、議事録においては「さん」よりも「議員」のほうがいいかなと思います。最初の出席者の記載ですね。
野口議長	「さん」がいい人。 (挙手多数)
野口議長	それでは「さん」で。
藤川議員	あくまでも議事進行上、議長が呼ぶときの敬称が「さん」でいいということで手を挙げたんです。議事録の「君」を「さん」にするという意味じゃないので、それは別で考えないと。あそこは「議員」がいいかもしれないですが、そうすると市長、副市長のところも「君」がついてますので、そちらをどうするという話も。
南谷清司議員	委員会は「委員」で呼んでるんですけど「さん」になるんですか、委員のままなんですか。
野口議長	議場では「さん」でいきます。
議会事務局長	議員の呼称の関係で他議会の会議録を確認したら、呼称をそのまま付けているところと、外しているところが

	大体同じくらいありましたが、外したほうがバランスはいいかなと思います。
藤川議員	議事録なので敬称略で、「君」をとればいいと思います。誰が出席したかが分かればいいので。
堀議員	議長が呼ぶときは「さん」付けするなら、議事録にもそう書くべきだと思います。今、議事録は「君」になっているわけでしょう。敬称なしにするのではなくて、「さん」で統一すればいいと思います。
藤川議員	先ほど申し上げたことが説明不足だったかもしれませんが、まず、議事進行上、議長は「さん」を付けることで合意形成できたと思います。これはあくまでも議長が指名するときのことで、議事録には議長が指名していないところに「君」が付いているんです。誰の発言か分かるように括弧書きで書かれている部分ですね。 私の意見は、その部分の敬称は略したらどうでしょうかという話です。議長が「さん」付けで呼んだ部分の議事録の「さん」を消すわけではないです。
堀議員	括弧書きの中の敬称を削除するということでしたら、納得しました。
野口議長	指名する際は「さん」付けで、議事録の「君」は削除することよろしいですか。 (異議なし)
野口議長	次に議場の傍聴席前にパーテーションを設置することについて、事務局より説明願います。
議会総務課長	議場における傍聴席と議員席の間に、使用済パーテーションを設置する運びとなりましたので、その理由について3点ほどご説明申し上げます。 まず1点目ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、過去に補助金を活用してパーテーションを大量に購入しておりますが、感染状況の改善に伴って不要になっているものが多くあります。 これらの使用済パーテーションを再利用できないかということで、管財課を中心に様々な案を検討した結果、その

	一つとして議場内の傍聴席と議員席の間に設置したらどうかという案が出ました。 もう一つはセキュリティの強化という観点で、本会議中に傍聴席から物が投げ込まれることが他の自治体でありました。そういった予期せぬ事態を未然に防止するために、パーテーションを防護策として利用できないかという観点です。これによって議員が安心して議論に集中できる環境を整えられるというところもあります。この点に関して、他市町でもパーテーションを設置しているところがあります。 3点目ですが、パーテーションを設置することで多少防音効果があります。傍聴者の声や雑音が議事に影響を与えているという話も聞いておりますので、集中して審議を行えるようにということを考慮しました。 以上の理由で設置することを決定したところです。設置の時期は3月末までに設置をしたいと考えています。
野口議長	このことについて何かご意見ございますか。
藤川議員	補助金を使っているから捨てるに捨てられない状況だと思うので有効活用するのはいいんですが、何枚ぐらいあるんですか。
議会総務課長	数えてないんですが数百枚はあると思います。議場で使う分は20枚ほどでそこまで多くは使いません。議会事務局事務室では継続して使用していますが、必要ないと判断した部署では倉庫にしまっているものもある状況です。
藤川議員	確かにささやく声とか鈴の音とかボールペンのカチャカチャ音が結構気になっています。議長には聞こえないものもあるので注意のしようがないと思うんですが、パーテーションを付けて効果があればありがたいと思います。
花村議員	捨てるに捨てられなくて議場に持ってきたという感覚で聞いたんだけど、市民と議会を隔てる象徴になるようで私は反対します。
川柳議員	開かれた議会に逆行する愚行だと思いますし、大体、新庁舎を建設するときに考えればいいことだと思います。僕は無駄だと思うし、これに予算がいくらかかるか知らないけど、絶対やることじゃないし、時代に逆行していると思

	います。 ただ、感染症を甘く見てはいけけないので、これから先、また流行することがあるかもしれないので、有効利用するというよりも、保管を前提に考えたほうがいいと思いますし、そもそもいくらかかるのか工事費を聞きたいです。
佐藤議員	鈴の音は聞こえるときが多くて、本当に騒がしいと思うことがございます。ただ、現実にはパーテーションを設置しただけで鈴の音が聞こえなくなるほどではないかなと思います。鈴の関係は、事務局で預かるとか、注意を掲げるとか、何か対策をしないといけないんじゃないかと思うので、お願いしておきます。
野口議長	鈴の音は注意したんだよね。
議会総務課長	まず金額ですけれども、見積の段階では 26 万円ほど、金具の製作にかかります。 防音効果はどれくらいあるのか分からないんですが、先ほど議長が言われたとおり、おそらくこの方だろうという人にお声掛けさせてもらって、本人も気づいてなかったものでそのときに外して頂きました。次からは持ってきていなかったもので、改善していると思います。 (「高さはどれくらいか、圧迫感があるのでは」と呼ぶものあり)
議会総務課長	1 m はいかないくらいかと。透明ですので圧迫感はあまりないと思います。
豊島議員	先進地を訪問してその際に議場を拝見しますが、かつての羽島市の議場のように非常に高低差があるところと、平坦なところがあります。他議会の経緯は分かりませんが、私は平坦なほうが、市民と対等でいいと思いますので、パーテーションが必要なのか。それをやるなら設計段階から提案しないといけなかったことですから、私は現状のままでもいいと思います。
藤川議員	議場での議員の安全対策という観点で、新庁舎建設前の段階で提案してたんです。通らなかったんですが、それはおそらく予算の関係だと思います。必要だと思って提案したことですし、他市議会でも傍聴席から物が飛んできたこと

	もあったという理由も添えて、対策が必要じゃないかということで提案したんですけど、結局それがつかないまま今の議場になっています。 パーテーションがあることによって、どういう心理的な効果があるのかという観点もあるかもしれないですけど、元々私はあったほうが良いと思って提案したので、そこはやって欲しかったです。 今できるチャンスがあるならやってみて、付けたときに傍聴者から何で付けたんだという意見が確かにあるかもしれないですし、そこは早い段階でやっておくべきと言われたらそのとおりだと思います。
栗津議員	高さが1mもないなら物はいくらでも投げられる。中途半端なことをやって何の効果もないということになってしまうので、無駄な経費を削減するという観点からも必要ないと思います。
議会総務課長	藤川議員が言われたとおり、議員側から要望があって、それを不採用にしたのはおそらく金額の関係で、最初からしっかりしたものを設置すると数百万円かかることから設置ができなかったという話は聞いたことがあります。
野口議長	確かに要望があったね、当時から。事務局もそれを知っていて今回の話なんですけど、反対が多いようなんですけど、これは決定ですか。
議会総務課長	発注はしてませんが、予算の目途は立ててあります。
佐藤議員	コロナウィルス感染症の流行は何年も継続しましたし、また新たな感染症が流行するような危機に対しても対応しないといけないと思います。有効活用という意味でも問題ないと思うので、私は設置するのに賛成です。
山田議員	私は反対ですが、仮に市民から今議論されているような意見が出てきて、取り外すことになったら大変なことです。やはり開かれた議会と言ってますので、最初からあれば市民も納得するでしょうけど、途中から付けるのは。 話を聞いていると余ったから再利用するって、それは駄目ですよ、大義が立たないです。私はやめたほうが良いと思います。

河崎議員	再利用に関しては昨今 SDGs の話があったり、そこまで反感や感情的なものはないかなと思います。セキュリティについては一定の効果があるのかなというところですが、金額に関しては、見積の金額が妥当か分からないところがあるので、他の業者から見積をとられたほうがいいのかと思います。
野口議長	パーテーションの件は議長において一旦預かります。 最後に、前回全員協議会で協議したごみ処理施設建設特別委員会の廃止については３月定例会に上程いたしますので、よろしくお願いいたします。 その他、何かございますか。 (意見なし)
野口議長	以上で全員協議会を終了いたします。 【閉会＝午前 11 時 12 分】